

corega BAR SW-4P Pro

- Version1.10 Beta 追加説明書 -

新機能「Unnumbered IP」,「Unnumbered IP + Private IP」

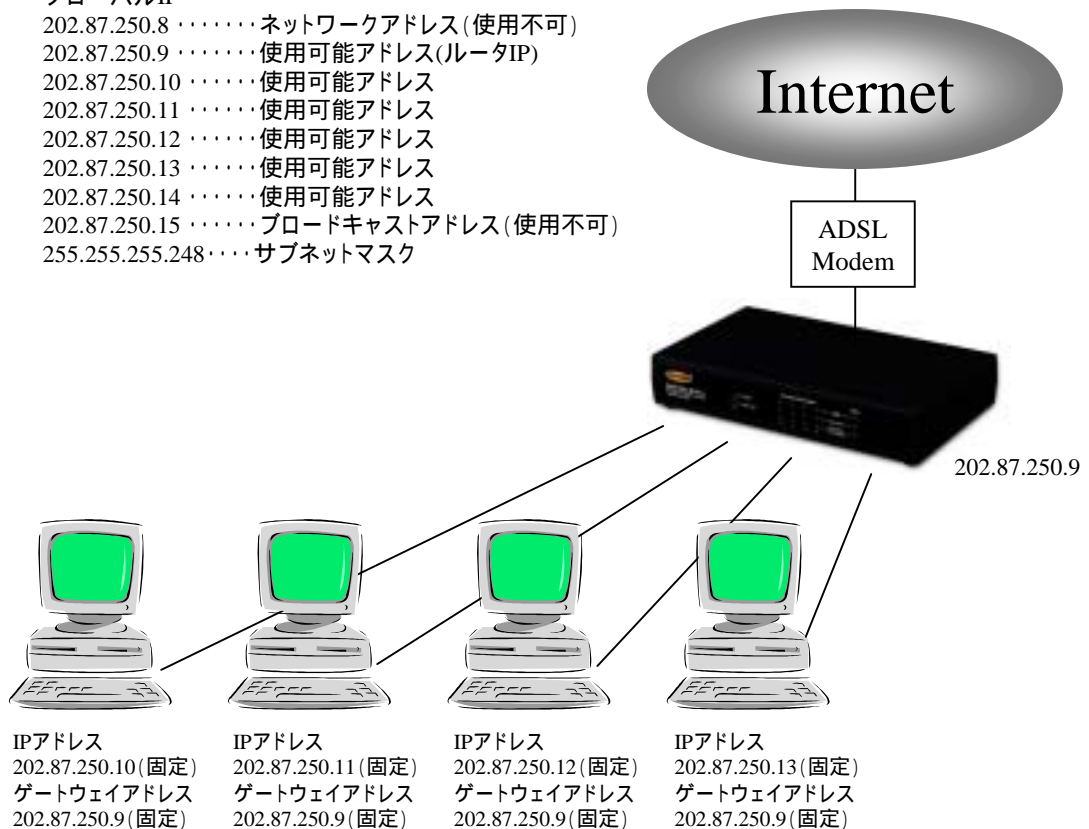
Unnumbered IP

プロバイダーから支給された複数のグローバルIPを端末で使用することができます。

(例) プロバイダーから「202.87.250.8 /29」というIPアドレスが支給された場合は

グローバルIP

202.87.250.8 ……ネットワークアドレス(使用不可)
202.87.250.9 ……使用可能アドレス(ルータIP)
202.87.250.10 ……使用可能アドレス
202.87.250.11 ……使用可能アドレス
202.87.250.12 ……使用可能アドレス
202.87.250.13 ……使用可能アドレス
202.87.250.14 ……使用可能アドレス
202.87.250.15 ……ブロードキャストアドレス(使用不可)
255.255.255.248 ……サブネットマスク



グローバルIPをインターネットに公開することで、WebサーバやMailサーバ、DNSサーバを同時に運用することができます。

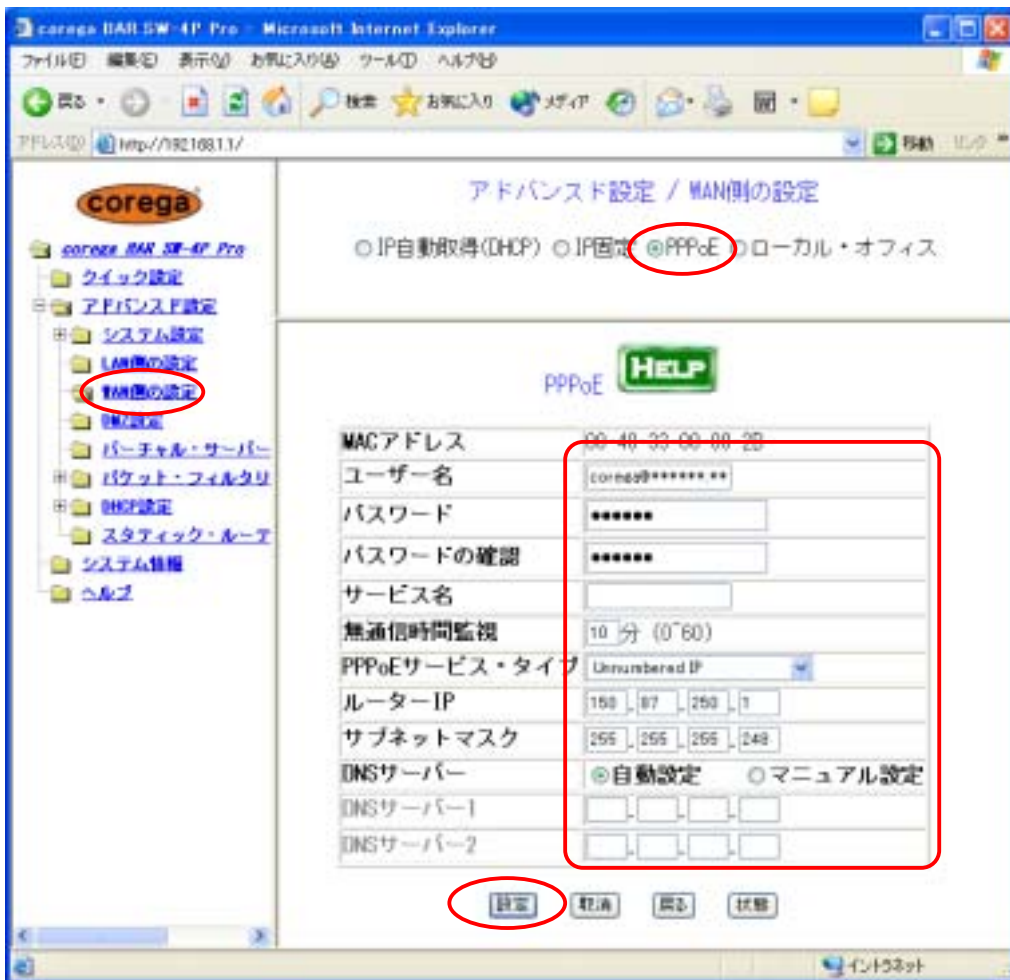
Unnumbered IP機能と同時に使用できる/使用できないその他の機能

ステルスモード	(注1)	DMZ設定	×
バーチャルサーバ	×	DHCP設定	(注2)
IPマスカレード・テーブル保持時間	×	無通信時間監視	
パケット・フィルタリング設定 / IPルール		パケット・フィルタリング設定 / Portルール	

注1 . BAR SW-4P Pro (ルータIP)に割り付けたIPアドレスのみ機能します。

注2 . Unnumbered IPの設定を有効にするとDHCP機能は自動的に「無効」と変更されます。

Unnumbered IPの設定 順番に従って設定を行ってください。



ユーザー名	プロバイダーから提示されたユーザー名を入力します。
パスワード	プロバイダーから提示されたパスワードを入力します。
パスワードの確認	確認のためにもう一度パスワードを入力します。
サービス名	任意の名前を入力します。空白でも問題ありません。
無通信時間監視	入力された時間内に通信が行われないと切断します。自動切断機能を使用しない場合は「0」を入力してください。
PPPoEサービス・タイプ	Unnumbered IPを選択します。
ルーターIP	BAR SW-4P Proに割り当てる使用可能IPアドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力してください
DNSサーバー	プロバイダーによって異なりますので、プロバイダーの資料を参考ください。

注意

「PPPoEサービス・タイプ」で「Unnumbered IP」を選択すると右に示すの注意事項が表示されます。ご確認の上、OKをクリックしてください。



必要事項を全て入力したらご確認の上、「設定」をクリックしてください。(DHCP機能が無効になります) 設定を有効にさせるにはBAR SW-4P Proをリポートしてください。

(注)リポート後、設定内容が有効になり、BAR SW-4PのIPアドレスが変更されます。
再び設定を行うにはPC側の設定を行って、ブラウザからルータIPを指定してください。

Unnumbered IP + Private IP

複数のグローバルIPと従来のプライベートIPを同時に使用することができます。
必ずプライベートIPはグローバルIPと異なるネットワークアドレスにしてください。
 プライベートIPの設定は「LAN設定」で行います。

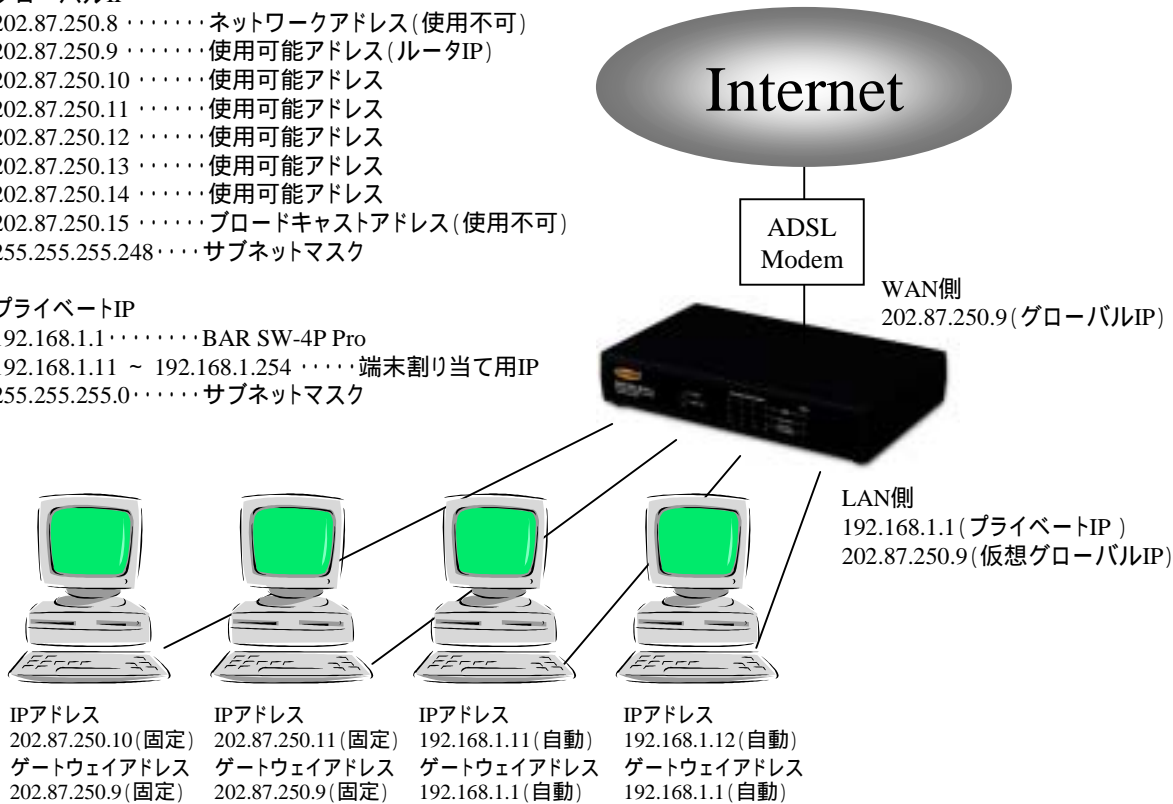
(例) プロバイダーから「202.87.250.8 /29」というIPアドレスが支給された場合は

グローバルIP

202.87.250.8 …… ネットワークアドレス(使用不可)
 202.87.250.9 …… 使用可能アドレス(ルータIP)
 202.87.250.10 …… 使用可能アドレス
 202.87.250.11 …… 使用可能アドレス
 202.87.250.12 …… 使用可能アドレス
 202.87.250.13 …… 使用可能アドレス
 202.87.250.14 …… 使用可能アドレス
 202.87.250.15 …… ブロードキャストアドレス(使用不可)
 255.255.255.248 …… サブネットマスク

プライベートIP

192.168.1.1 …… BAR SW-4P Pro
 192.168.1.11 ~ 192.168.1.254 …… 端末割り当て用IP
 255.255.255.0 …… サブネットマスク



DHCP機能を併用することでプライベートIPからでも従来通りインターネットに接続することができます。

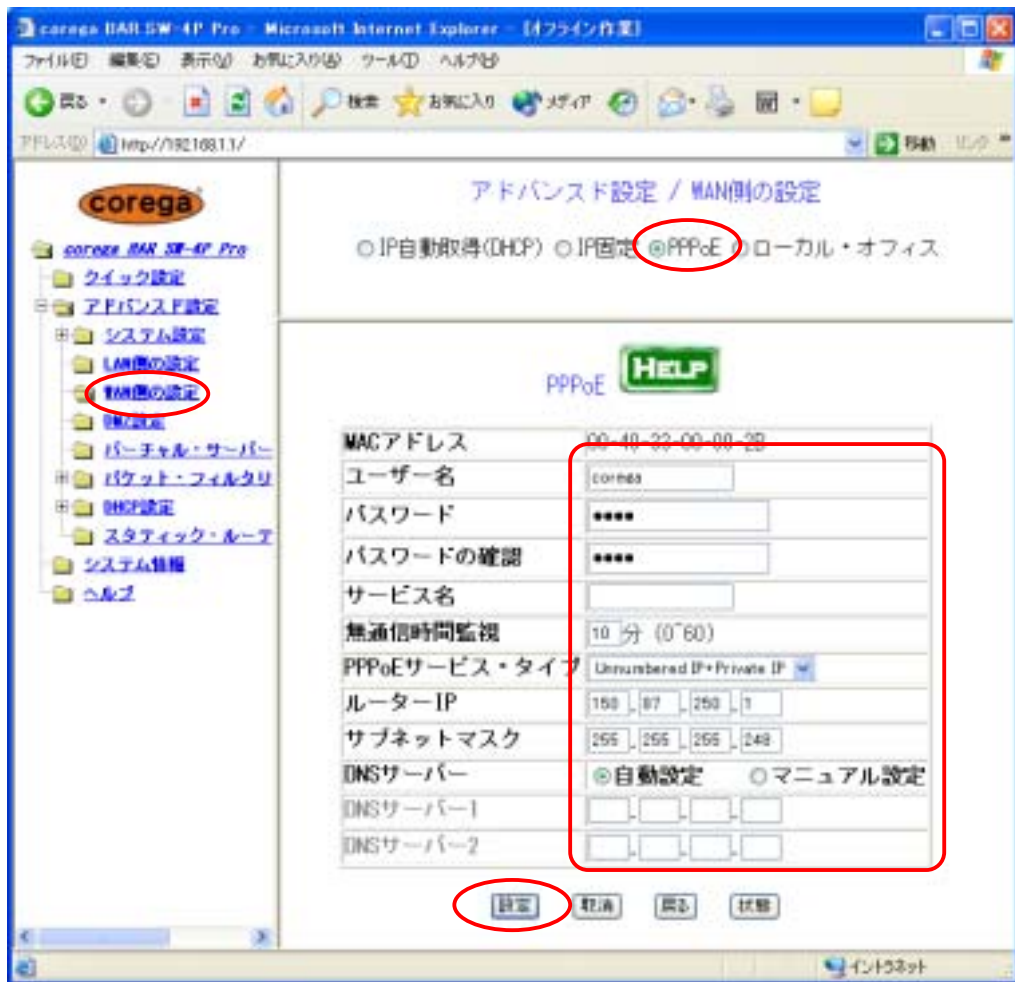
Unnumbered IP + Private IP機能と同時に使用できる/使用できないその他の機能

ステルスモード	(注1)	DMZ設定	
バーチャル・サーバ		DHCP設定	(注2)
IPマスカレード・テーブル保持時間		無通信時間監視	
パケット・フィルタリング設定 / IPルール		パケット・フィルタリング設定 / Portルール	

注1 . BAR SW-4P Pro(ルータIP)に割り付けたIPアドレスのみ機能します。

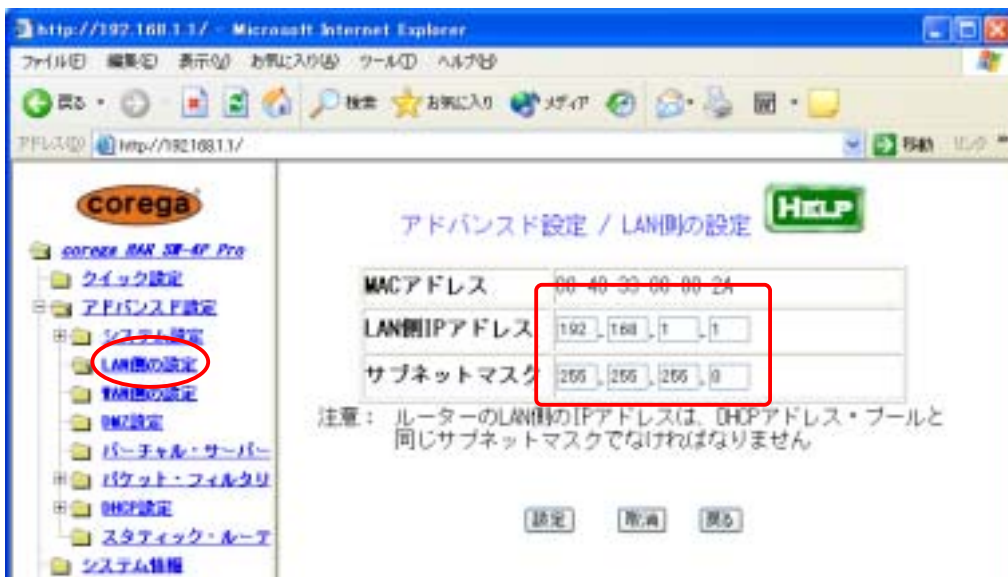
注2 . Unnumbered IP + Private IPの設定を有効にするとDHCP機能は自動的に「有効」と変更されます。

Unnumbered IP + Private IPの設定
 順番に従って設定を行ってください。

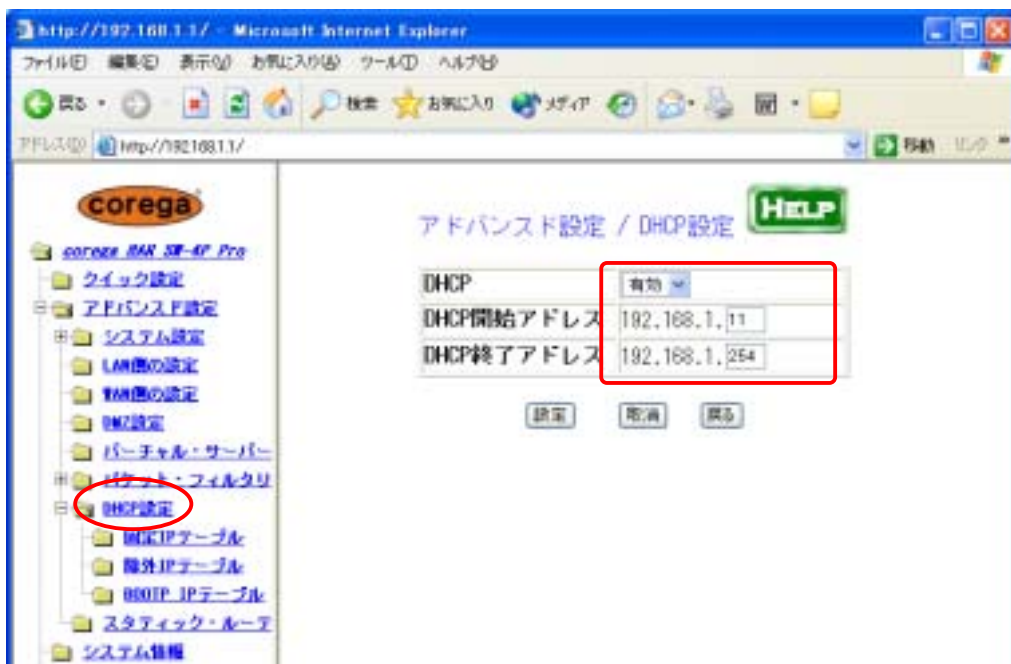


ユーザー名	プロバイダーから提示されたユーザー名を入力します。
パスワード	プロバイダーから提示されたパスワードを入力します。
パスワードの確認	確認のためにもう一度パスワードを入力します。
サービス名	任意の名前を入力します。空白でも問題ありません。
無通信時間監視	入力された時間内に通信が行われないと切断します。切断しない場合は「0」を入力してください。
PPPoEサービス・タイプ	Unnumbered IP + Private IPを選択します。
ルーターIP	BAR SW-4P Proに割り当てるIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力してください
DNSサーバー	プロバイダーによって異なりますので、プロバイダーの資料を参考ください。

「設定」をクリックしてください。(DHCP機能が有効になります)
 次へお進みください。



グローバルIPと異なるネットワークアドレスになっているか確認してください。
間違っている場合は正しいIPアドレスを入力し、「設定」をクリックしてください。



DHCPの有効及び、DHCP開始アドレスとDHCP終了アドレスが正しいか確認してください。
間違っている場合は正しいIPアドレスを入力し、「設定」をクリックしてください。

設定を有効にさせるにはBAR SW-4P Proをリポートしてください。

(注)リポート後、再び設定を行うにはプライベートIPを割り当てられたPCもグローバルIPを割り当てられたPCも接続先はLAN側IPアドレスとなります。

corega BAR SW-4P Pro

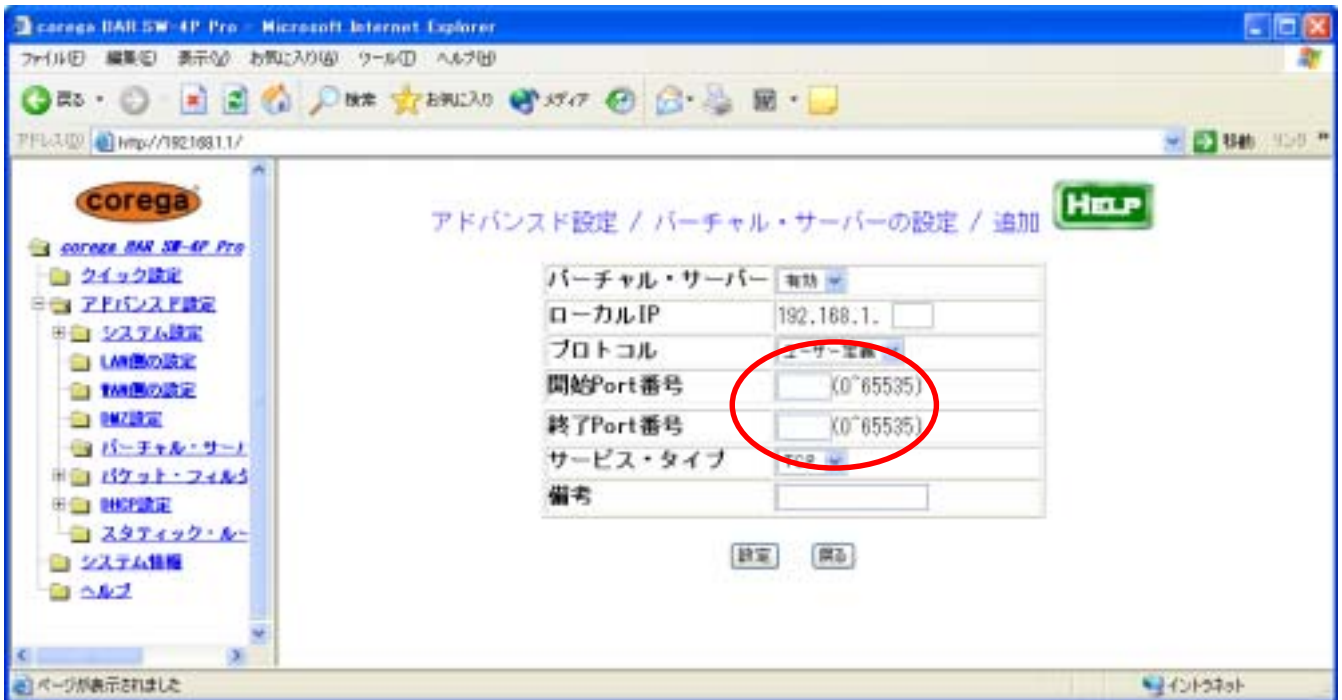
- Version1.10 Beta 追加説明書 -

機能拡張版 バーチャル・サーバ

機能拡張版 バーチャル・サーバ

ポート番号を範囲で指定できるようになりました。

これによってWebサーバやFTPサーバなど、ポートの異なるサーバソフトも同時に運用できるようになります。



開始ポート (Port) 番号及び終了ポート (Port) 番号を入力してください。

必ず開始ポート番号より終了ポート番号の方が大きい数値になるように入力してください。



開始ポート番号 = 20
終了ポート番号 = 80



開始ポート番号 = 80
終了ポート番号 = 20

その他項目に関しましては製品付属の取扱説明書をご覧ください。